

白根市この1年

～2001主な出来事～

- 1月6日・消防出初め式
- 21日・白根市長選挙で吉沢真澄氏が初当選を果たす
- 26日・高橋務氏 助役退任
- 29日・吉沢新市長 初登庁
- 2月14日・第1回市議会臨時会
- 3月2日・第2回市議会定例会(～21日)
- 29日・白根市水防センターが完成
- 31日・四ツ興野保育園閉園
- 4月1日・下八枚地区農村公園「白蓮ふれあい公園」が開園
- 10日・「ワークセンターしらはす」開所式
- 5月3日・成人式
- 13日・第15回白根マラソン大会
- 23日・自治会等代表者連絡会議
- 25日・第3回市議会臨時会
- 6月1日・市政功労者表彰式
- 6日・第29回白根市美術展覧会(～11日)
- 7日・白根大風合戦(～11日)
- 14日・ベルリン・フィル八重奏団白根公演
- 15日・第4回市議会定例会(～22日)
- 7月1日・白根市防災訓練(旭町、桜町地内)
- 13日・市街地排水ポンプ場施設完成
- 14日・白根市青少年健全育成・社会を明るくする運動市民大会
- 23日・第5回市議会臨時会
- 29日・参議院議員選挙
- 31日・2009年新潟国体のレスリング競技の開催地が白根市に決定
- 8月5日・市内中学生非核平和研修(～7日)
- 10日・白根市高齢者能力活用センター「清楽苑」の建設工事始まる
- 11日・非核平和都市宣言10周年記念事業
- 19日・市民まつり「信濃川 川の陣」
- 9月7日・第6回市議会定例会(～17日)
- 15日・集中豪雨で白根地区の一部に被害
- 16日・健康ウォーキングフェスティバル
- 21日・白南中学校の校章デザイン決定
- 22日・生涯学習フェスティバル(～10月14日)
- 10月1日・白根市環境美化推進条例が施行
・北部第2工業団地分譲開始
- 6日・しろね健康福祉フェア2001
- 11日・第7回市議会臨時会
- 31日・白南中学校校舎棟建設工事安全祈願祭
・第5回日・韓高校レスリング交歓競技大会
- 11月1日・しろね学習館まつり(～4日、10日、11日、23日、25日)
- 11日・白根市文化協会発会式
・第30回白根市一周駅伝大会
- 12月7日・第8回市議会定例会(～19日)

平成13年を



2009年(平成21年)に開催される新潟国体で、白根市はカルチャーセンターを会場としたレスリング競技の会場地に決定しました。



市は、農・工・商業の調和の取れた都市づくりを目指して、新たに北部第2工業団地を造成し、10月から分譲を開始しました。

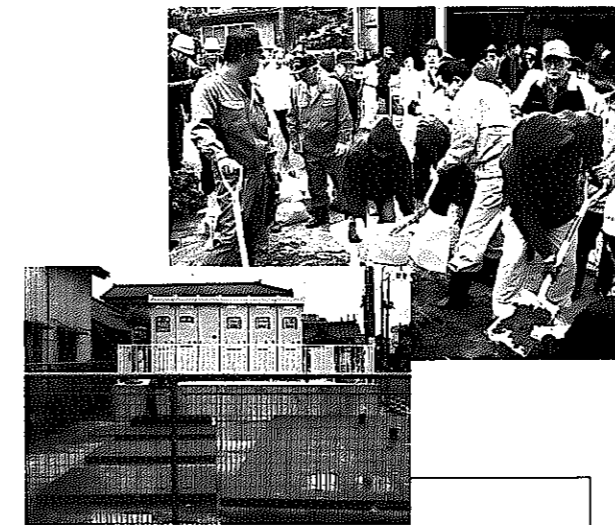


白南中学校校舎棟の建設工事が10月31日から始まりしました。建設工事前には、同校の校章が相馬美香さん(庄瀬中1年)のデザインに決定し、平成15年春の開校を目指して、着々と準備が進んでいます。

振り返って



任期満了に伴う白根市長選挙は、1月22日に投票が行われ、即日開票の結果、吉沢真澄氏が初当選しました。吉沢新市長は同29日に初登庁し、就任式で「市民主体の、市民に開かれた、市民のための市政を運営していきたい」とあいさつ。吉沢市政がスタートしました。



7月1日、白根地区の旭町および桜町地内で、大雨による浸水被害を想定した白根市防災訓練が行われ、地域住民、市、消防署、警察署など約三百人が参加。地域と一体となった総合的な訓練となりました。また、市街地排水ポンプ場施設が7月13日に完成しました。

年頭のごあいさつ

将来展望の見える 白根市の創造に向けて



白根市長 吉沢真澄

明けましておめでとうございます。
平成14年の新春にあたり、市民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年1月の就任以来、1年が経過しますが、市民の皆さまの市政に寄せる期待と、責務の重大さをあらためて痛感しています。この間、皆さまには暖かいご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

さて、昨年春の内閣発足以来、国においては「聖域なき構造改革」が推し進められています。地方にとってもその影響は大変大きなものがあります。特殊法人の民営化や道路特定財源の見直し、特に地方交付税制度の見直しは地方行政に直結する問題として、その動向を注視しているところです。一方、社会経済においては、IT産業の失速に加え、狂牛病問題や同時多発テロ事件など、明るさの兆しが見えない状況です。そうした中、本市においても、一段と厳しさを増す財政状況を受け、昨年を「行財政改革元年」と位置付けて、プロジェクトチームで検討を進めています。また昨年、北部第2工業団地の造成が完了し、企業誘致に全力で取り組んでいるところです。昨今の雇用情勢はかつてない厳しい状況が続いていますが、新規就業の場、そして本市の財政基盤の確立に役立つものと大きな期待を寄せています。さらに、白南中学校の建設については、平成15年春の開校を目指して、現在、校舎棟のくい打ち作業を進めているほか、下水道事業についても引き続き推進してまいります。

新年においては、さらなる福祉の充実のため、今後5カ年の障害者福祉施策の指針となる「白根市障害者プラン」の策定を予定しています。また、この1月に白根市高齢者能力活用センター「清楽苑」が開所し、白井地内においても民間法人によってグループホーム、デイサービス施設の建設が進められており、今春完成の予定です。

地方分権のさらなる推進は、地方の在り方を大きく変化させるものであり、今後、地域の特性を生かした個性あるまちづくりが求められています。いわば、これまでのハード重視のまちづくりからソフト重視のまちづくりへの転換が必要ではないかと思えます。地球規模の環境問題、ますます進行する少子高齢化、そして長引く経済の低迷など、解決すべき課題も山積しています。特に、地方再編については、現在全国各地で合併の動きが活発化しており、本市においても議論は避けられないところです。市民各位の考えを広くお聞きする中で、議論を深められるよう積極的な情報提供を図っていきたく考えています。

本年も、市民とともに歩む市政、将来展望の見える白根市の創造のため、努力してまいります。引き続きご支援ご協力をお願い申し上げ年頭のごあいさつといたします。